

時 報

◎昭和34年度鶏産卵能力集合検定終る

岡山県養鶏試験場で昭和34年11月1日から実施していましたが、去る10月15日、350日間の日程を終了しました。検定開始羽数と検定終了羽数は第1表のとおりですが、今回も、個体産卵個数、産卵重量、群成績で好記録が出ました。個体産卵個数では、無休産の350卵鶏が単冠白色レグホーン種で4羽出て、これは全国第2位の好成績で、群成績においても1群1羽平均産卵個数が311.6個で、全国第6位になっています。

また検定開始羽数に対するそれぞれの成績は、1羽平均産卵個数、281.4個、1羽平均産卵重量、15,459.6グラムで、350日間に300個以上産卵した

ものが151羽(40.8%)、15キログラム以上産卵したものが222羽(60%)でありました。

個体成績と群成績はそれぞれ第2表第3表のとおりです。

第1表 検定開始羽数と検定終了羽数

| 種 類 | 検定開始羽数 | 斃死羽数 | 検定終了羽数 |
|------------|--------|------|--------|
| 単冠白色レグホーン種 | 310 | 34 | 276 |
| 横斑プリマスロック種 | 40 | 3 | 37 |
| ニューハンプシャー種 | 10 | 2 | 8 |
| 計 | 360 | 39 | 321 |

第2表 昭和34年度集合検定鶏個体成績一覧表 (330卵以上のもの)

| 順位 | 検定番号 | 種 類 | 個 数 | 重 量 | 一ヶ当平均重量 | 依 頼 者 氏 名 |
|----|--------|------------|------------------|-----------------------|-------------------|-----------|
| 1 | 59-261 | 単冠白色レグホーン種 | 350 ^ヶ | 19,903.5 ^g | 56.9 ^g | 初岡敏朗 |
| 2 | 131 | 〃 | 〃 | 18,892.5 | 54.0 | 岡本実 |
| 3 | 253 | 〃 | 〃 | 18,092.0 | 51.7 | 土肥恭介 |
| 4 | 1 | 〃 | 〃 | 17,992.0 | 51.4 | 池田寿雄 |
| 5 | 270 | 〃 | 349 | 18,536.0 | 53.1 | 初岡敏朗 |
| 6 | 98 | 〃 | 342 | 18,303.5 | 53.5 | 矢尾綱太 |
| 7 | 117 | 〃 | 339 | 19,459.0 | 57.4 | 内田和夫 |
| 8 | 114 | 〃 | 337 | 19,582.5 | 58.1 | 〃 |
| 9 | 59 | 〃 | 336 | 18,613.5 | 55.4 | 津山種鶏 |
| 10 | 254 | 〃 | 〃 | 17,870.5 | 53.2 | 土肥恭介 |
| 11 | 313 | 横斑プリマスロック種 | 335 | 18,106.0 | 54.0 | 山上茂吉 |
| 12 | 201 | 単冠白色レグホーン種 | 334 | 17,931.0 | 53.7 | 石田健 |
| 13 | 119 | 〃 | 333 | 18,816.0 | 56.5 | 内田和夫 |
| 14 | 290 | 〃 | 332 | 17,951.0 | 54.1 | 赤木文吉 |
| 15 | 159 | 〃 | 〃 | 17,940.5 | 54.0 | 桐野博 |
| 16 | 213 | 〃 | 〃 | 16,695.0 | 50.3 | 久光和夫 |
| 17 | 171 | 〃 | 331 | 19,517.5 | 59.0 | 岡島孝志 |
| 18 | 64 | 〃 | 330 | 19,998.0 | 60.6 | 林住雄 |
| 19 | 285 | 〃 | 〃 | 17,804.0 | 54.0 | 赤木文吉 |

第3表 昭和34年度集合検定鶏群成績一覧表 (350日間)

| 順位 | 検定番号 | 種類 | 依頼者氏名 | 一羽当平均 | | 一羽当平均卵重量 | 一ヶ当平均卵重量 |
|----|------------|----------------|------------|--------------------|-------------------|------------------------|-------------------|
| | | | | 合格卵数 | 百分率 | | |
| 1 | 59-281~290 | 単冠白色 レグホーン種 | 赤木文吉 | 311.6 ^ヶ | 89.0 [%] | 17,547.40 ^g | 56.3 ^g |
| 2 | 59-151~160 | 〃 | 桐野博 | 309.5 | 88.4 | 16,783.25 | 54.2 |
| 3 | 59-201~210 | 〃 | 石田健 | 301.3 | 86.1 | 16,632.70 | 55.2 |
| 4 | 59-231~240 | 〃 | 日下馬治 | 299.1 | 85.5 | 16,911.80 | 56.5 |
| 5 | 59-131~140 | 〃 | 岡本実 | 297.8 | 85.1 | 15,677.55 | 52.6 |
| 6 | 59-51~60 | 〃 | 津山種鶏農業協同組合 | 293.2 | 83.8 | 15,784.60 | 53.8 |
| 7 | 59-251~260 | 〃 | 土肥恭介 | 289.1 | 82.6 | 15,320.30 | 53.0 |
| 8 | 59-21~30 | 〃 | 高田禄也 | 286.4 | 81.8 | 15,604.60 | 54.5 |
| 9 | 59-321~330 | 横斑プリマス ロック種 | 長谷川利雄 | 277.5 | 79.3 | 15,475.95 | 55.8 |
| 10 | 59-171~180 | 単冠白色 レグホーン種 | 岡島孝志 | 〃 | 〃 | 15,401.10 | 55.5 |

○鶏産卵能力集合検定及び 移出鶏卵品質荷造改善共励会の褒賞授 与式挙行

12月9日午前11時から、岡山市田中地先の岡山県養鶏試験場で、昭和34年度鶏産卵能力集合検定の褒賞授与式と、本年8月に大阪で行なわれた岡山県移出鶏卵検査協会の品質荷造改善共励会（既報）の褒

賞授与式が併せて挙行されました。

式には、検定鶏出品者、鶏卵の共同出荷農協など約60名のほか、岡山大学、県経済連など養鶏関係者が出席し、荒木県農林部長、養鶏試験場長から優秀な成績を収めた検定鶏の出品者や、優秀、優良組合に対して、農林大臣賞状、県知事賞状、優勝カップ、県経済連副賞ほかそれぞれ授与されました。

鶏産卵能力集合検定（昭34年度） 授賞状況（上位のみ）

農林大臣賞

| 種類 | 検定番号 | 受賞者住所 | 氏名 |
|-------|------------|--------|------|
| (郡の部) | | | |
| 白レグ | 59-281~290 | 吉備郡高松町 | 赤木文吉 |

知事賞

| 種類 | 検定番号 | 受賞者住所 | 氏名 |
|--------|--------|--------|------|
| (個体の部) | | | |
| 白レグ | 59-261 | 真庭郡落合町 | 初岡敏朗 |
| 〃 | 59-131 | 玉島市狐島 | 岡本実 |
| 〃 | 59-253 | 井原市高屋町 | 土肥恭介 |
| 〃 | 59-1 | 小田郡矢掛町 | 池田寿雄 |

(重量の部)

| 種類 | 検定番号 | 受賞者住所 | 氏名 |
|-----|--------|--------|------|
| 白レグ | 59-196 | 赤磐郡瀬戸町 | 酒井一夫 |

(群の部)

| 種類 | 検定番号 | 受賞者住所 | 氏名 |
|-----|------------|--------|------|
| 白レグ | 59-281~290 | 吉備郡高松町 | 赤木文吉 |
| 〃 | 59-151~160 | 都窪郡吉備町 | 桐野博 |
| 〃 | 59-201~210 | 苫田郡鏡野町 | 石田健 |

岡山畜産便り 1961.01

移出鶏卵品質荷造改善共励会（第4回）

審査報告

第4回岡山県移出鶏卵品質荷造改善共励会が本年6月から8月末までの3箇月間阪神市場において実施されましたが本日、ここに審査の結果について御報告申し上げます。

今回の共励会に参加されました組合は、毎日出荷30箱以上の組合を対象として総数131組合でありました。

審査は8月上旬から下旬にかけて抜打的に各組合から出荷鶏卵を適宜抜き取り所定の審査基準に基づいて外装、内装、品質などの各項目に分けて細部にわたってこれを行ないました。

さて、審査成績の概要について申し上げますと、今回の共励会の参加組合のうちで進歩向上の見受けられましたのは、常に鶏卵品質の改善に強い関心をもって移出鶏卵検査協会の行なう自主検査を受けている津山、西大寺地区の成績が各組合ともまとまってよろしく他の地域をしのいでおりました。

これに反し従来先進地といわれた吉備、総社地方の成績が意外に不振であったことは遺憾でありました。

審査の細部についてみますと、まず外装につきましては、本年度も全部ダンボールケースで大体において優美堅ろうで統一されていましたが極く一部の組合では他県産の容器を手を加えずに、そのまま出荷していましたが、はなはだ遺憾でありました。また、一部には組合名の記入されていないもの、記入が不鮮明なもの、内容の規格が明示されていないものが見受けられました。

内装につきましては、前年と同様に保証票の入っていないもの、卵の詰め方が一部または全部が逆詰めになっているものが散見されました。このほか、フラットやファイラーの破損したものを使用したため、破卵の原因となったものがありました。

次に内容について申し上げますと、卵の破損していたものは目立って少なくなっていますが、これに反し、ヒビの入ったものが非常に多く認められました。これは輸送中の取扱いにもよりますが、中には荷造りのとき既に傷んでいたもの、あるいは大小の粒の不ぞろいのもの、畸型卵や薄殻卵をそのまま詰

入んだため傷の入ったと認められるものが大半でありました。卵殻の清潔度や粒の斉一度につきましては前年より良くなってきていましたが、汚染卵の混入はなほだしいものが参加組合のうち24%、稍不良のものが22%もありました。

粒の斉一度においては、不良なものが全体の24%もありましたが、前年33%に比べ選別も良くなってきていることを示しています。

次に、正味重量の点を見ますと、1箱につき50瓦以上の量目不足が認められたものが、全体の34%もあったことは、商取引上の信用にもかかわりますので早急に改善を要します。

次に品質の点であります。卵殻に石灰質粒子が付着しているもの、薄殻卵、奇型卵等が散見されましたが、これらは破卵などの原因をつくりますので地元消費に向けるか、または別に取りまとめて格外卵として出荷することが望ましいと思われま

す。鮮度の点では、前年に比較して総体的に成績が悪かったと認めました。参加組合中、鮮度A級は、わずかに6.1%でB級は全体の50%、C級44%でC級が前年に比べ多かったのであります。

特に、鮮度の点で気付いたことは、灯光検査で気室の深さはA級程度に浅いにもかかわらず、卵黄の移動がはなはだしく割卵すると、濃厚、卵白、水様卵白ともにその質が薄く、緩んで拡散するものが非常に多く認められました。

このことは産卵後、日は浅くとも給与飼料の品質や卵の保管方法、汚染卵の処理方法、輸送方法などに由来するものではないかと考えられますので今後研究を要します。

以上審査の概要について申し上げましたが、その結果からみて今後の改善点について申し上げますと、

第1に鮮度保持の点ですが、農家の定期出荷を督促するとともに、特に夏場の鶏卵の取扱いについては、集卵、保管方法、汚卵の手入れ、輸送要領など一貫した鮮度維持に対する認識を高めることが必要です。殊に卵の清潔度にとらわれるあまり、水洗いや薬液処理によりかえって卵の生命ともいえる鮮度を低下させている場合が、今回の共励会の成績に明らかに現われていますので、水洗いや薬液処理は絶体にやめていただきたいと存じます。

岡山畜産便り 1961.01

第2に量目不足を解消することであります。秤量器の整備はもちろんのこと、包装容器の検量を逐一確認して正量取引を行なっていただきます。

第3に卵の選別を厳重に行なって、その規格を容器の所定の場所に明示することです。

これは、集卵荷造所の整備統合を行なって、できるだけ大量の鶏卵を扱うことによって、自動選別機の導入が可能となり、必然的に合理化された鶏卵の選別、規格統一ができますので、このような努力が望まれます。

以上、審査の結果得点85点以上を授賞の対象としまして、優秀賞8点、優良賞20点を擬賞しましたので褒賞授与されますよう申請いたします。

昭和35年12月9日

**第4回岡山県移出鶏卵
品質荷造改善共励会**

審査長 蔵 知 毅

**受賞状況 (上位のみ)
優 秀 賞**

| | | | | | | | | |
|----------|---|-----------|---|----------|----------|---|--|------------------|
| 加美農業協同組合 | 円城南農業協同組合 | 西苦田農業協同組合 | 幸島農業協同組合 | 八浜農業協同組合 | 富山農業協同組合 | 鳴方農業協同組合 | 五明養鶏組合 | 組 合 名 |
| 右 上 | 岡山県知事賞状及び副賞 全国販売農業協同組合連合会副賞 全卵会副賞 岡山県経済農業協同組合連合会副賞 | 右 同 | 岡山県知事賞状及び副賞 岡山県経済農業協同組合連合会副賞 大阪鶏卵販売株式会社副賞 | 右 同 | 右 同 | 岡山県知事賞状及び副賞 全国販売農業協同組合連合会副賞 全卵会副賞 岡山県経済農業協同組合連合会副賞 | 農林大臣賞状 岡山県知事賞状及び副賞 日本養鶏協会长賞状及び副賞 日本卵業協会长賞状及び副賞 岡山県経済農業協同組合連合会副賞 玉井鶏卵(株)副賞 | 授 賞 区 分 |

◎第18回中国連合畜産共進会開催予定

中国6県畜産共進会は、3年毎に各県が順次会場を受け持って開催されますが、今回は兵庫県が引受けることになっており、去る11月21日、神戸市に各県関係者が集まり開催計画について協議を行いました。その結果会期は本年10月19日から23日までの5日間とし、神戸市兵庫区御崎町1丁目、神戸競輪場で開催されることになりました。

各県別の出品割当頭数は別表のとおりで、岡山県への割当は和牛13頭、乳牛5頭など中家畜を合わせ32頭となっています。

なお、出品家畜及び出品者の資格、審査区分は次のとおり。

出品家畜及び出品者の資格

- ①県の施設で生産されたものは出品を認める。
- ②飼育期間は肉牛去勢牛→3カ月のほかは全て6カ月
- ③出品資格

和種種牛(黒毛和種)

血統上高等登録資格のあるもの及び高等登録牛で、昭和35年6月末までに生まれたもの。

(無角和種については略)

乳用種々牛

昭和35年6月末までに生まれたホルスタイン種牛及び同種系牛で、何れも登録または登記されたもの。

肉 牛

メスは60カ月以内、去勢牛は36カ月以内のもの。

種めん羊

明2才以上の登録又は登記されたコリデール種

種 山 羊

明2才以上の日本ザーネン種

種 豚

生後8カ月以上の登録又は登記された中ヨークシャー種

④審査区分

A、和種々牛

(黒毛和種)メス、16~21カ月、22~24カ月、25~36カ月、37カ月以上、高等登録牛

オス、16~24カ月、25~36カ月、37カ月以上、高等登録牛

B、乳用種々牛 性別、経産及び未経産

C、肉牛 性別、ヌキは24カ月中心に分ける。上位2~3頭はと体審査

D、種めん羊 性別

G、種山羊 性別、2才及び3才以上

F、種豚 性別、経産及び未経産別

岡山畜産便り 1961.01

各県出品割当頭数

| 家畜 | 兵庫 | 鳥取 | 島根 | 岡山 | 広島 | 山口 | 計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 和牛 | 15 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 80 |
| 乳牛 | 10 | 5 | 4 | 5 | 5 | 4 | 33 |
| 肉牛 | 13 | 4 | 3 | 5 | 5 | 10 | 40 |
| 豚 | 8 | 6 | 5 | 3 | 5 | 3 | 30 |
| めん羊 | 4 | 4 | 5 | 3 | 4 | 0 | 20 |
| 山羊 | 5 | 2 | 5 | 3 | 4 | 5 | 24 |
| 計 | 55 | 34 | 35 | 32 | 36 | 35 | 227 |